

症 調 失 統 合

イワシなどの不飽和脂肪酸

妊娠中の摂取で予防？

イワシなどに含まれる
ドコサヘキサエン酸(D
HA)などの不飽和脂肪

ながる危険性があること
も示唆する結果だとい
う。

と結合し、細胞内に取り
込むのを助けるたんぱく
質を作る「Fabp7」

酸の体内への取り込みに
関係する遺伝子が、統
合失調症の原因遺伝子の
一つであることを、理

研究チームは、音の刺
激への反応が統合失調症
の患者とよく似たマウス
を正常なマウスと掛け合

という遺伝子との相関が
強かった。この遺伝子を
欠くマウスは、脳の神経
新生が少なくなることも
確認した。この遺伝子は
人間にもある。

化学研究所や東北大など
の研究チームがマウスを
使った実験で特定した。

1010匹の全遺伝情
報を詳しく調べること
で、発症に関係する遺伝
子を絞り込んだ。

統合失調症の発症には
複数の遺伝子と環境要因
が複雑に絡み合っている
と考えられている。栄養

不飽和脂肪酸は胎児の脳
の形成過程に必要な栄養
素で、妊娠中の不飽和脂
肪酸の摂取が不十分だ
と、統合失調症発症につ

その結果、DHAや卵
などに含まれるアラキド
ン酸などの不飽和脂肪酸

も関係し、妊娠中に飢餓
状態に置かれた女性から

生まれた子供は、統合失
調症を発病する危険性が
2倍に高まることが知ら
れているという。

理研脳科学総合研究セ
ンターの吉川武男チーム
リーダーは「妊婦が適切
な量の不飽和脂肪酸を食
べることで、統合失調症
の発症予防ができるのか
研究を進めたい」と話し
ている。
【西川拓】